

群馬臨床 お勧め検査 7月版～1

マイコプラズマ肺炎検査のご案内

発症初期の血清抗体価陽性所見ではマイコプラズマ感染症の診断が困難な場合も多いと察します。発症初期の診断の補助として、マイコプラズマニューモニエDNA(LANP法)をお勧めします。今後も引き続きお引き立てのほど宜しくお願い申し上げます。

敬白

マイコプラズマニューモニエDNA

特徴1

発症初期の2日目から16日目での検出が可能

特徴2

咽頭ぬぐい液、喀痰材料にて高感度測定（滅菌綿棒または喀痰）

～ お問い合わせ先 ～
株式会社群馬臨床検査センター

TEL : 027-265-6498